

宇城市 議会だより

UKI-CITY ASSEMBLY REPORT

23号

2010年11月



あつまれチビッコ大運動会



発行・編集／宇城市議会

TEL 0964-32-1111(代) FAX 0964-34-3557

CONTENTS

審議した議案等とその結果	2
委員会報告	3
一般質問	6
議会の構成	12
議会の主な動き	12

認定

番号	件名	年月日	審議の結果
第1号	平成21年度宇城市一般会計歳入歳出決算の認定について	H22.9.8	決算審査特別委員会に付託 継続審査
第2号	平成21年度宇城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	H22.9.8	
第3号	平成21年度宇城市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	H22.9.8	
第4号	平成21年度宇城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	H22.9.8	
第5号	平成21年度宇城市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	H22.9.8	
第6号	平成21年度宇城市奨学金特別会計歳入歳出決算の認定について	H22.9.8	
第7号	平成21年度宇城市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	H22.9.8	
第8号	平成21年度宇城市水道事業会計決算の認定について	H22.9.8	
第9号	平成21年度宇城市下水道事業会計決算の認定について	H22.9.8	
第10号	平成21年度国民健康保険宇城市民病院事業会計決算の認定について	H22.9.8	

●発議

第11号	決算審査特別委員会の設置について	H22.9.8	8人の委員で構成する特別委員会を設置
第12号	松橋駅周辺開発整備特別委員会の設置について	H22.9.8	

●物品売買契約の締結について
(小型動力消防ポンプ積載車)
「今後全て、市内全域の老朽化した積載車は、更新という方向で進むのか」との質疑に対し、「合併特別債の借入期限が平成26年度までであり、当初計画していたものを少し前倒しして、平成26年度まで10台ずつ更新するように予定している。期限後の平成27年度以降は、一般財源での対応となることから、平成27年度から平成31年度までは、更新は全くないということになる」との答弁があった。

総務常任委員会

今定例会に提案された議案の審査のため開催された常任委員会における審査の経過と結果を報告します。



平成22年第3回定例会

会期:平成22年9月3日から15日(13日間)

●審議した議案等とその結果

●議案

番号	件名	年月日	審議の結果
第38号	物品売買契約の締結について(小型動力消防ポンプ積載車)	H22.9.15	可決
第39号	宇城市過疎地域自立促進計画の策定について	H22.9.15	原案可決
第40号	平成22年度宇城市一般会計補正予算(第2号)	H22.9.15	訂正原案可決
第41号	平成22年度宇城市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	H22.9.15	原案可決
第42号	平成22年度宇城市老人保健特別会計補正予算(第1号)	H22.9.15	原案可決
第43号	平成22年度宇城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	H22.9.15	原案可決
第44号	平成22年度宇城市介護保険特別会計補正予算(第1号)	H22.9.15	原案可決
第45号	平成22年度宇城市奨学金特別会計補正予算(第1号)	H22.9.15	原案可決
第46号	平成22年度宇城市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	H22.9.15	原案可決
第47号	平成22年度宇城市水道事業会計補正予算(第1号)	H22.9.15	原案可決
第48号	平成22年度宇城市下水道事業会計補正予算(第1号)	H22.9.15	原案可決

●承認

第5号	専決処分の報告及び承認を求めることについて(平成22年度宇城市一般会計補正予算 専決第1号)	H22.9.8	承認
第6号	専決処分の報告及び承認を求めることについて(平成22年度宇城市一般会計補正予算 専決第2号)	H22.9.8	承認

●報告

第8号	平成21年度宇城市健全化判断比率及び公営企業会計資金不足比率の報告について	H22.9.8	報告
-----	---------------------------------------	---------	----

●請願

第2号	議員報酬の引き下げを求める請願書	H22.9.3	不採択
-----	------------------	---------	-----



小型動力消防ポンプ積載車

●宇城市過疎地域自立促進計画の策定について

「戸馳大橋の事業費が26億円と計上してあるようだが、特別委員会では審議はなされたのか」との質疑に対し、「この計画は、あくまでも計画であり、土木部としての概算であるが、26億円計上して、中身については、特別委員会で審査・協議をしていたかどうかということである。また、この計画を必ず執行するのではなく、状況に応じて検討のうえ、執行していく」との答弁があった。

●一般会計補正予算(第2号)

○電算運営費について

「この分野についてあまりにも

私たちは無知であり、中身のことをよく分からずに、全てがどんな通ってしまおうということが、若干問題ではないかと思う。例えば保守点検業務の中身を精査、洗い直す作業が必要でないか。専門家、学識経験者など詳しい方と職員、委員で勉強会的なものを行う必要があるのではないか」との意見があり、「勉強会の中で、委員に分かりやすく説明ができるような説明資料等の整備を行っていきたい」との答弁があった。

建設経済常任委員会

●一般会計補正予算(第2号)

○漁港改良費の大見川河口漁場モニタリング調査委託料について

「アサリの養殖場のことと思うが、すでに完成していると思う。どうなっているのか」との質疑に対し、「現在の広さは3ha程度で、浚せつした土を入れたままの状態となっている。アサリ漁場として更に今後、砂を入れて造成事業を実施するのか、また実施した場合本当にアサリが育成できるのかという調査を行った上で、事業が可



大見川河口

能かどうか判断するための調査費用である」との答弁があった。

また、「この事業は、地元からある程度の反対があったと聞いているが、アサリ漁場を造るために浚せつした土を埋め立てたもので、本当は養殖場を造ることが決定しているのではないのか」とたまたしたところ、「現在、常時現場に出向き、アサリの生育状況を調査している。現在のままの状態ではアサリが育成するのかわか調査を行った上で決定したいとしている」との答弁があった。これに対し、「年数がかかるが、アサリ漁場を人工的に造ることはいいことだし、水産資源が減少している中

民生常任委員会

●一般会計補正予算(第2号)

○老人福祉総務費について

「高齢者住宅改造成事業が140万円増額補正されているが、何件ぐらいあって、どのような工事が多いのか」との質疑に対し、「今回2件分として140万円の補正増をお願いしている。年所得

税が7万円以下の低所得者を対象とし、段差の解消やトイレまたは手すりの改修が多いのではないかと思います」との答弁があった。



○障害者福祉費について

「自殺予防対策推進事業補助金として県から補助金を受け、取り組むとのことだが、どのような計画か」との質疑に対し、「自殺予防の推進として、講師の招へいやパネル等の購入、また啓発パンフレットを作成し、年度内に全戸配布する取組を計画している」との答弁があった。

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

「平成21年度決算額と今回の予算総額を比較すると、金額の差が

大きいように見受ける。後期高齢者医療保険というのは年々増額していくのか」との質疑に対し、「決算額と予算総額には約1億円ほどの開きがあるが、対象者の増加はもちろんのこと、医療費も約4%以上伸びている状況である」との答弁があった。

●介護保険特別会計補正予算(第1号)

○基金積立金について

「介護給付費準備積立金として積み立てる金額に対し、県から指導はないのか」との質疑に対し、「介護給付費が不足した場合に備え、準備基金を設け、決算の剰余金の一部を積み立てるよう指導を受けている」との答弁があった。

文教常任委員会

●一般会計補正予算(第2号)

○小学校費について

「豊野一貫校地質調査測量設計業務委託料は、工事の基本設計が決まり、その実施設計を行う増額分との説明であるが、なぜ工事費が当初の12億円から6億8千万円も増加するのか」との質疑に対し、

「仮設校舎や小学校解体等を加えたことや、中学校は当初最低限の改修であった計画をほとんど改修することになったためである」との答弁があった。さらに「学校改修費に18億円を超える予算はあまりにも高すぎる。この金額なら新築の校舎ができる。検討すべきである」との意見があった。

○小学校費及び中学校費について

「障害対応の頻度から校内LAN保守業務委託料が適正かどうか」との質疑に対し、「不具合があった場合、行政系は情報統計課が対応する。しかし、教育系は学校内でネットワークの障害等の不具合があった場合、校務に滞りが生じてしまう。その障害対応の頻度や内容とエンジニアの賃金等を勘案した金額である」との答弁があった。

○保健体育費について

「昨年オープンしたふれあいスポーツセンターの人工芝グラウンドは、当初から雨で冠水する可能性があることは予測できる問題であった。今後、連携を密にして申し送りをすべきである。原点到返って業者と話し合いをし、責任

で、漁業関係者に少しでも明るい材料になればと思う。調査を進めていただきたい」との意見があった。

●下水道事業会計補正予算(第1号)

○施設建設費について

「5211万6千円減額してあるが、どういう理由なのか。事業をしなかったのか」との質疑に対し、「今年度から国土交通省所管の補助事業が一括統合され、社会資本整備総合交付金事業となった。これまで下水道事業は補助事業として、直接国に申請をし、補助金を受け入れる形だったのが、県で一括して調整し配分を受ける形に変わったための減額である」との答弁があった。

の所在を明確にして、今後二度と同じことが起きないように根本的な対策を考慮すべき」との指摘に対し、「原点到返り、業者と協議をしていく中で責任の所在を明確にし、申し送り等の連携を密にする。ピニール等の浮遊物をこまめに除去するなどの管理を徹底し、冠水で流れたグラウンドのゴムチップを比重の大きいものに取り替える」との答弁があった。

○奨学金特別会計補正予算(第1号)について

「奨学金返済が遅れている者はどのくらいか。また返済期間は何年か」との質疑に対し、「15人の返済が遅れている。貸付終了後1年間を猶予期間とし、2年目から返済義務が生じ、返済期間は借りの期間の2倍で元金を返す」との答弁があった。また、「督促状を出すだけでは、対応が甘いと思うかどうか」との質疑に対し、「今後面談を実施し、返済計画等を考えていく」との答弁があった。さらに「返済金が原資になるから、滞納すれば、これから借りる人が困るということを面談で説明すべき」との意見があった。

一般質問

中村 友博 議員

「道の駅物産館について」

問 集客力向上策として、地元企業などに支援要請を働きかけ、地元産の農産物を利用した体験コーナーを設置してはどうか。

経済部長 地元産を使った体験教室は集客力アップにつながるかと考えている。空きスペースを利用しながら働きかけを行いたい。

問 「宇城彩館」は、宇城市の中心、松橋町にオープンした物産館である。市、JAにとどまらず市民全体で支援をし、本市の核として発展することを願っている。



宇城彩館

「松橋駅周辺開発について」

問 事業計画と今後のスケジュールについて問う。

市長 地域の事情に沿った整備を段階的に進めていく。駅西までのアクセス道路と東西の駅前広場をつなぐ重要通路に絞り込み、整備計画を立てる。平成23年度事業着手、26年度事業完了を目指す。

問 計画当初の目的は、東西市街地の分断化解消にあった。横断方、ルートへの検証など関係機関、特にJRとの協議はどうか。

「地元企業優先発注について」

問 市発注の工事や物品納入は、可能な限り地元の間業者へ発注する事、その意図を明確にするために「地元企業優先発注基本方針」を作るべきではないか。

市長 地元業者育成の観点から優先的参加を基本としており、特に建設工事などは地域雇用の確保や資材調達など地域経済への影響も大きく、災害時の早期対応の協力で安全安心な暮らしの確保にもつながる。基本方針については作業部会等の設置を含めて検討する。

「市民の参画と協働の推進について」

問 「協働」という言葉がよく使われるようになったが、市の指針を問う。市民・市職員にもまだ「協働」の理念が浸透していない、担当課の設置と「市民協働推進条例」の制定が必要ではないか。

市長 本市では「市民協働の町づくり推進指針」を作成、自主自立・相互理解・目的共有・公正・公平・公開の原則を視野に入れて事業を進めていく。
企画部長 「協働」の意識付けとともに浸透させていく必要がある。条例制定については、検討懇話会を立ち上げ、制定に向けて準備を進め、来るべき時に推進課の設置も必要だと考える。

「地元農産物の学校給食への利用促進について」

問 学校給食における地元農産物の利用割合の向上と利用促進・トレーサビリティを重視した安心安全な食材の調達JAとの連携を求める。
教育部長 学校給食の地元農産物使用割合は、平成21年度43・6%で、今後55%

企画部長 今のところ基本計画に示されたルートを想定している。関係機関、JRとの協議については、交付金獲得の可能性が見えてきたので、7月より本格協議に入っている。

「不知火町東部地区の排水対策について」

問 内水対策調査内容と調査後の取組、また調査は排水機場設置を前提として進めるのか。前提として進めていくとすれば設置時期はいつごろになるのか。

市長 年度内に氾濫、水利計算を経て、ポンプ規模の設定を含む内水対策の方向性をまとめる。
総務部長 事業着手までの水害防止については、現在8インチの排水ポンプ2基設置しているが、雨量の状況を見て更にポンプを設置する方向で考えている。

五嶋 映司 議員

「国保税について」

問 国保世帯の本市と宇土市の医療費の違いは。
市民部長 平成21年度決算でほぼ

「地上デジタル放送難視聴地域の解消にむけて」

問 難視聴地域の現状と、高齢者や障がい者への対応は。

企画部長 本市の難視聴地区は、9地区439世帯で、三角町8地区と不知火町松合地区で、新たに三角町大口地区の20世帯を追加した。松合地区では中継局設置で対応、6地区で組合による自主共聴で対応、アンテナ等の変更による個別対策が2地区、検討中が1地区である。高齢者や障がい者など情報の届きにくい世帯へは、嘱託員、民生委員・介護支援専門員・ケアマネージャーとデジタルポ熊本から個別訪問で対応している。来年7月の完全移行まで積極的に取り組む。

「防災無線の問題点について」

問 荒天時、放送が聞こえないという市民の声にどう対応するのか。県指定の災害危険地域は個別受信機が必要では。
総務部長 災害危険地域が市内各所に点在し、情報伝達は重要な役割を持つ。個別受信機は、室内で情報を的確に得ることが可能である。地域の把握に努めて検討する。

豊田 紀代美 議員

「議会事務局の充実強化について」

問 議会改革のため、議会基本条例の策定を早急に手がける必要が

同等となっている。

問 国保会計への繰入金の宇土市との違いは何か。

市民部長 一般会計からの繰入金は、宇土市は本市の2.4倍で、国保被保険者一人あたりに換算すると実に4.2倍に当たる。基準外繰入金を除いても9463円宇土市が多く繰り入れている。

問 医療費が変わらないので、宇土市との国保の状況は変わらない。繰入金の違いの原因は何か。

市民部長 算定基礎が目に見えない部分もある。財政局とも協議し検討したい。



問 担当部局ですら解明できない。しかし、国からはこれだけの

ある。政策提言・情報収集・市民との連携など議会改革には、これまで以上に議会事務局の充実・強化が必要である。二元代表制の一方である首長として人事、予算についての考えを問う。

市長 人事は議長と連携を取り適正な配置をしている。予算は行財政改革の基本方針や財政上の考慮を踏まえ、適切に計上している。

「教育問題について」

問 退職教員による授業力伝授での教科指導強化事業の提案について問う。

教育長 3人の学校教育審議員を任用している。計画的に学校を巡回、教師全員の授業参観、課題が残った教師や本人や校長の要望が強い教師には複数回授業指導している。

問 教科分担制の導入で、中1ギャップの解消・教員の負担軽減・児童の学力向上を目指す提案について問う。

教育長 複数の教師・少数指導で個性や能力に応じた指導をしている。理科は専門に指導する体制を取り、教師同士で交換授業を行っ

問 市長が目指す健全財政の数値目標と、目標達成時に市民の負担軽減はあるか。
市長 私が目指す数値目標は合併特別債の有効活用を考え、実質公債比率が18%を超えないようにしながら、財政調整基金を35億円まで積み立てる事である。市民の負担軽減については、税の増収が見込めない本市では歳出の抑制による基金の増資と起債残高の減少を図ることが必要で、市税や国保税の減額、公共料金の値下げについては、値上げをしなくて済むよう精一杯努力する。

渡邊 裕生 議員

「財政健全化と市民負担の軽減について」

ている。中1ギャップは全国的な課題で、今後は小中学校の連携を進め、中1ギャップの解消に努める。

「障害者福祉サービスの充実について」

問 就労支援、庁内ワークシェアリングについての現状と取組について問う。

市長 市では、一般雇用やチャレンジ雇用制度の推進拡大、さらに雇用については可能な限り積極的に取り組みたい。

問 先に兵庫県加西市と東京八王子市の障害者就労支援、庁内ワークシェアリングの資料を示し説明したが、今後の取組を問う。

総務部長 関係各部において、時期や頻度作業量など雇用に関する業務の調査がなされ非常に参考になり、今回の提案について前向きに検討する。

問 コミュニケーションボード助成で地域社会への理解と啓発の提案について問う。

健康福祉部長 今回コミュニケーションボードの啓発の機会を与えていただきありがたい。コミュニケーションを進めるツールとして

長が「現在のところ進出したいという企業が2社ある。三角島原フェリーはすぐにできる」と明言をされた。その裏づけは。

市長 現在数社から航路再開及び運行に伴うリスク分を本市が対応すれば運行しても良いという提案があつている。航路の再開には、運行する企業の誘致、選定をしなければならぬが、進出していた条件整備として、市にどのような施策ができるか。国や県の動きを見ながら、運行再開のための関係機関との折衝や助成措置を含め、整理検討する必要があると考えている。

「市職員の育成について」

問 外部団体への派遣研修がなくなったことは、大変残念。外の組織に身を置くことにより自分を見つめ直し、新たな自分を発見できる良い機会にもなる。そして、様々な出逢いから多くを学び、幅広いネットワークが構築できるチャンスでもある。将来への人的投資の意味から、是非とも復活させるべきではないか。

市長 文部科学省をはじめ、県内

開発されており、このボードをきっかけに知的障害者や自閉症の理解を深めていく重要な視点であり、今後関係団体との連携を更に深め、広報紙、ホームページ等でも啓発を図る。



坂本順三 議員

「子育て支援住宅について」

問 松合には旧町営住宅跡地があり、住宅を建てるスペースが十分にある。子育て支援住宅の建設をしていただき、人口流出の歯止めをかけたがどうか。

市長 子育て支援住宅については、交通、就学、生活、環境の利便性を最大限に考慮できるような場所等の設定を行い、皆さんと共に話し合いながら良い方向にもっていききたい。

「街路灯について」

問 国道266号（塩屋浦から大口まで）と永尾から古屋敷間の街路灯（防犯灯）の設置について問う。



古屋敷集落入口付近

総務部長 本市は夜間の犯罪や事故を未然に防止するとともに、児童生徒や市民の皆様の不安を解消し、明るく住みよいまちづくりに大きな役割を果たすとの考えで、毎年度通学路や必要な場所に街路灯を整備している。本路線は国道ということもあり車両数も相当数ある。しかし、総延長が8・1kmで非常に長く整備には数千万円を

要する。今後緊急性や必要性などを考慮し調査をしたい。永尾、古屋敷区間は人家の少ない唯一の連絡路線で通学路でもある。そのうち1・5kmの区間は電柱がなく街路灯もない。防犯上危険な区域に当たる。特に危険な箇所から設置の長期計画を立て、計画的に是非できるように考えていく。

「文化財について」

問 松合生まれで千里眼の女と言われた御船千鶴子が亡くなってから来百年を迎えるが、市として何か考えはないか。

教育部長 御船千鶴子は歴史に残る著名人であり、没後百年を機に積極的に情報収集を行い、新たな資料等があれば展示コーナーの充実を図っていききたい。また御船千鶴子の墓や生家跡等を示す案内表示板等の整備や、没後百年を記念したイベント等については、関係者および関係部署などと協議し、検討していきたい。

中山弘幸 議員

「三角島原フェリー航路再開について」

問 三角地区の行政懇談会で、市

教育長 現状として、敷地内禁煙はしていないが、それぞれの学校で、実態に応じた分煙を実施している。宇土市、天草市、上天草市等が現在敷地内禁煙を実施している。早急に実地検分して、本市としても対応したい。

園田幸雄 議員

「宇城市南部地区の排水対策について」

問 八代海湾奥部の干潟堆積化、排水対策について問う。

経済部長 湾奥部対策は本市だけで解決できる問題ではなく、県や国の4省庁、農林水産省、水産庁、林野庁、国土交通省が関係し、大きな計画と事業費を伴うことから、将来的な国の事業化を期待して、市としては積極的な要望活動を行っていかねばならないと考えている。本年度からは背後地である陸地の課題に絞りを絞り、前委員会を引き継ぐ形で、8月25日に豊川地区排水対策検討会を立ち上げ、課題である排水対策を総合的に検討していくことを確認している。現在は応急対策として、県と連携しながら定期的にフラッシングを実施し、みお筋の確保、土

「宇城市南部地区の農業振興対策について」

問 施設園芸用水対策について問う。

経済部長 塩水化対象地区において、県の農業用水再利用対策モデル事業の補助を受け、個人用の雨水貯留施設37基と共同用の貯水槽一式を増設し、本年度も15基導入予定である。松橋、小川町が氷川ダムから引用している氷川用水も考えられるが、下益城南部土地改良区を受益範囲としており、ハードルは高いが、同意を得ることで、水稲以外の時期では園芸用水として利用は可能と考えている。

「道の駅（宇城彩館）の駐車場について」

問 駐車場の利便性について、クレーンが多い。今後の対策について問う。

企画部長 指摘の部分については、バリアフリー駐車場を目指した関係で、段差が非常に分かりにくい、また道案内の標識が少ない等の意見がある。皆様に、より利便性が高く安全にご利用いただくために、共同設置者である国土交通省、熊本県と協議を行い、問題点の改善に向けて早急に対応してまいりたい。

「スポーツの振興について」

問 生涯スポーツの推進について問う。

教育部長 市民一人一人が誰でもいつでもどこでも運動ができるよう、各種施設の管理や各種行事などに現在取り組んでいる。昨年の実績では、全体として約3万人の参加があり、このことは市民の健康増進や地域の活性化、そしてジュニアスポーツの強化等につながっていると考えている。

「防災について」

問 小川町海東地区の土砂採取について、行政はどう受け止めているのか。

経済部長 土砂採取については、砕石業者は県知事の許可を受け、県知事は市町村長に通報しなければならぬ。市は現地周辺の環境並びに地域住民への健康保全のため、災害被害、汚染防止に万全な対策を講じるよう意見書を提出している。県は排水計画の調査を行い、汚濁水、土砂が場外に流出しないよう注意事項をして許可している。地域住民の苦情については県へ申し入れをしていく。

「教育について」

問 小中学校の体験活動の意義をどう考えるか。

教育長 青少年期における体験活動は大変有意義である。本市では平成17年度から通学合宿を行っている。親元を離れ、3泊4日の日程で、炊事、洗濯を自分たちでしながら学校に通う。お風呂はもらい湯をし、その家で昔話を聞いたり、昔の遊びを教してもらった

溝見友一 議員

「宇城市の5年、10年後の事を考える取組について」

問 本市の合併当初は、約6万5千人の人口であったが、今は6万3千人を下回ろうとしている。「宇城市に住みたい」「宇城市に家を建てたい」と思えるような市の政策を考えなければならぬ。本市に家を建てると助成金20万円支給や固定資産税の5年間免除となれば、5年後の税収が見込め、人口増加につながると思う。今後「宇城市に住みたい」と思う市の具体策をお聞きしたい。

市長 厳しい経済状況ではあるが、定住対策の一つとして企業誘致や地場産業の育成を積極的に行い、魅力ある雇用場を作ることも重要な課題とされている。議員ご提案の定住対策制度について今後検討していく。

問 熊本市（富合・城南）が政令指定都市になる。早急に政策をとり、市長が先頭に立って実行していただくことを望む。

「松橋駅周辺開発について」

問 今回の整備内容を見る限り、

私は一抹の寂しさを感じる。駅を利用する市民が使いやすい、また周辺住民の方々に活気を感じられる開発でなければならぬと考える。変更可能ならば、市民の声を反映した計画にしていきたいと思うがどうか。



松橋駅東口

企画部長 当初は用途の制限を受けない「通路の整備」を計画していたが、それが今回制度上困難な「道路の整備」となり、多々制約を受けることになった。そのため、できるだけ財政負担の伴わない空間整備の方法を現在検討中である。その他東側スペースの問題等や多くの課題があるが、時間の許す限り、議員ご指摘のとおり、市民の声をより多く反映できるように整備

「教育行政について」

助事業である地域子育て創生事業で予算を計上しており、現在利用者への利便性を重視し、必要とする情報、ためになる情報の掲載を精査し、作成、配布できるように担当課で準備を進めている。

問 学習環境改善のためにも扇風機の設置はできないか。



教育長 近隣の市町において、扇風機、エアコン等の設置を検討している市町があると聞いています。特にそういったところを参考にしたい。18校の平等間の醸成という観点から、今後この件については検討してまいりたい。

備を推進していきたいと考える。

問 本市の発展のためにも将来を見据えた松橋駅周辺開発を是非実行させてほしい。

椎野和代 議員

「商業・農業振興について」

問 プレミアム商品券の検証とさらなる支援について問う。



プレミアム商品券

経済部長 プレミアム分及び事務費として、2400万円を実行委員会へ補助金として交付した。額面、時期は適当で、お客様にも好評で消費拡大の効果があった。商品券の方策としては人的投入と財源が必要になるが、財政当局、商工会と協議しながら新たな支援策を検討していきたい。

「農業行政について」

問 大口地区の潮遊地の機能保全と基盤整備について、この地区は三角地域の中でも農業後継者が最も多く従事をしている。また営農意欲も大変高いところである。一年でも早く地元の実情と熱意をくみ取り、遊水池、また排水機場の潮遊地の機能保全と基盤整備の事業化に向けて取り組んでいただきたいがどうか。

経済部長 今後は潮遊地の機能保全と基盤整備事業を一体的に考え、県営事業となる熊本県と調整を図りながら、事業化に向けて取り組んで進んでいきたい。県にお願いをしていた基礎調査が本年度に計画されているので、まずはどのような事業になるのか、現状把握の調査を行うことが事業化に向けての第一歩だと考えている。



議会の構成 (◎は委員長 ○は副委員長)

決算審査特別委員会及び松橋駅周辺開発整備特別委員会が設置されました。

決算審査特別委員会

◎入江 学 ○大嶋 秀敏
 福永 貴充 五嶋 映司
 高田 幸夫 坂本 順三
 長谷 誠一 豊田紀代美

松橋駅周辺開発整備特別委員会

◎中村 友博 ○高田 幸夫
 溝見 友一 園田 幸雄
 渡邊 裕生 河野 一郎
 松野 孝敏 入江 学

熊本天草幹線高規格道路整備特別委員会及び戸馳大橋整備調査特別委員会が開催され正・副委員長が互選されました。

熊本天草幹線高規格道路整備特別委員会

◎石川 洋一 ○松下 倫三
 河野 正明 渡邊 裕生
 坂本 順三 中村 友博
 堀川 三郎 中山 弘幸

戸馳大橋整備調査特別委員会

◎松下 倫三 ○石川 洋一
 福永 貴充 尾崎 治彦
 河野 一郎 坂本 順三
 松野 孝敏 堀川 三郎



議場風景

市議会を傍聴しませんか?

次の定例会は、
12月1日(水)開会予定です。
 日程などの詳細は、議会事務局 (TEL32-1111) までお問い合わせください。

議会の主な動き

平成22年8月15日

平成22年11月15日

8月20日	熊本県市議会議員研修会
8月24日	全員協議会(市内主要施設現地調査)
8月25日	戸馳大橋整備調査特別委員会
8月27日	議会運営委員会
9月 3日	平成22年第3回宇城市議会定例会開会(15日まで)
9月 8日	決算審査特別委員会
9月 9日	総務常任委員会・建設経済常任委員会
9月10日	民生常任委員会・文教常任委員会
9月13日	文教常任委員会
9月15日	熊本天草幹線高規格道路整備特別委員会
9月15日	小川BSスマートインター整備特別委員会
9月30日	中国南寧市来庁・文教常任委員会
10月 1日	松橋駅周辺開発整備特別委員会
10月12日	決算審査特別委員会(10月15日まで)
10月13日	宮崎県五ヶ瀬町来庁
10月14日	京都府宮津市来庁
10月15日	長野県佐久市来庁
10月22日	戸馳大橋整備調査特別委員会
10月25日	松橋駅周辺開発整備特別委員会
10月27日	和歌山県海南市来庁
11月 1日	議会運営委員会・文教常任委員会
11月12日	熊本天草幹線高規格道路整備特別委員会

再生紙使用



環境保護印刷の
 水なし印刷で
 印刷しています。

印刷/敷島印刷株式会社